

## 浄水場系統別の設備概要

種別			净水場 柴島浄水場 *1 庭窪浄水場								豊野浄水場		
作組かり	施設能力				1,180,0				450,000m³/日				
取						塔3基、沈砂池6池			楠葉取水場:取水口2基、				
水設		取水口・沈			取水塔1基、沈砂池8	池〈大阪市分8池×(	, .		沈砂池4池				
備	取水ポンプ系統 取水ポンプ 台数			一津屋取水ポンプ場     第1取水ポンプ場       4台     5台		第3取水ポンプ場 4台	第2取水ポンプ場 4台	取送水ポンプ場 4台	第2取水ポンプ場(2系) 5台			揚水 3台	
	浄水処理系統			1系	3系	2系	4系	1系	2系	5台 3系	40	38	
	7777	ご生が初	池数	1池	2池	1池	2池	1池	1池	4池	6	池	
	混	和池	混和方式	上下う流式	フラッシュミキサー	フラッシュミキサー	越流拡散式	フラッシュミキサー	フラッシュミキサー	フラッシュミキサー		う流式	
	70	ATC HOL	池数 水流方向	2池 上下う流式	6池 直角直流式	4池 上下う流式	6池 直角直流式	4池 上下う流式	4池 上下う流式	4池 上下う流式		う流式	
	) Juy	ク形成池	ガルカロ 攪拌装置	エトラ派式 阻流板	旦用旦派式 フロキュレータ	阻流板	旦用担派式 フロキュレータ	阻流板	阻流板	阻流板		う派式 流板	
	沈でん池		池数	3池	6池	8池	6池	4池				池	
	次	ぐん池	方式 排泥方式	横流式 気圧式	横流式 リンクベルト式	横流式 リンクベルト式	横流式 リンクベルト式	横流式 リンクベルト式	横流式 走行式ミーダ形	2階層平行流式 リンクベルト式		平行流式 ベルト式	
			池数	3池	4池	4池	4池	4池	4池	8池	4	池	
	中オゾ	ン接触池	方式 接触時間	向流散気管方式 5分	向流散気管方式 5分	向流散気管方式 5分	向流散気管方式 5分	向流散気管方式 5分	向流散気管方式	向流散気管方式 5分		気管方式 分	
			接触段数	2段	2段	2段	2段	2段	5分 2段	3段		·段	
			池数	12池	24池	24池	20池	20池	20池	24池		8池	
浄			ろ過面積 砂層厚	80m² 75cm	126m² 60cm	108m² 75cm	126m² 60cm	116m² 75cm	116m² 75cm	127m² 70cm		6m² Icm	
水設	急速	ろ過池	砂利層厚	35cm	26cm	35cm	26cm	35cm	35cm	44cm		)cm	
備	76.72	. 7.2.0	集水方式	ホイラー式	有孔ブロック形	ホイラー式	有孔ブロック形	有孔ブロック形	ホイラー式	ホイラー式 有孔ブロック形	有孔ブ	ロック形	
			表洗方式	固定式	固定式	固定式	固定式	固定式	固定式	固定式	固	定式	
		.0. 0	逆洗方式	ポンプ直送		ポンプ		ポンプ直送	ポンプ直送	ポンプ直送		プ直送	
	揚水	ボンプ	台数 池数		台 'ti	6	台 池		6台 3池			<u>台</u> 基	
			方式	3池 向流散気管方式			<b>贰管方式</b>		向流散気管方式			一ブ方式	
	後オゾ	ン接触池	接触時間	5:		5				4.	2分		
			反応時間 接触段数	5分 2段		5				_			
			池数	12池		14			10池				
	粒状活性炭吸着池 塩素接触池 净水池		面積 層厚	101,4m²/池 2,1m		112,7 2,			109.6m²/池 2.1m				
			集水装置	多孔板式		多孔				 .板式			
			池数	2池 15分			池		2池 15分				
			接触時間 池数	15	<u>分</u>	15	分	2池	2池	2池		5分 i池	
			総容量					10,000m³			75,300m³		
	送水	ポンプ	台数 貯蔵槽	10m <sup>2</sup>	×2槽	13m <sup>2</sup>	×2槽	4台 11m	4台 <sup>3</sup> ×2槽	5台 6m <sup>3</sup> ×2槽	8m³	×2槽	
	濃硫酸 硫酸ばんど かせいソーダ		揚液ポンプ	2.		2.			台	2台		台	
			小出し槽	0.5m			3×2槽	0.5m	<sup>3</sup> ×2槽 4台	0.3m³×2槽 4台		³×2槽	
			注入機 貯蔵槽	4台 4台 4台 210m <sup>3</sup> ×4槽		4台 210m³)	│ <u>4台</u> <4槽			5台 ı³×2槽			
			揚液ポンプ	2			2台		250m <sup>3</sup> ×6槽 5台	4m³×2槽	2台		
			小出し槽 注入機	3.5m	·×2槽 6台	3.5m	3台	2.3m³ 3台	4m³×2槽 4台				
			貯蔵槽	210m <sup>3</sup> ×2槽 3台 2台 2台		225m		011		ı³X3槽			
薬品			揚液ポンプ 注 前			2台	台 2台	2台	2台		台		
品  注   入			注 前 機 後		<u> </u>	5		20	2台 5台	20		台	
入設			小出し槽	4.5m³×2槽			³×2槽		7.5m³×2槽			³X2槽	
備		中	オゾン発生器排オゾン			7.5kgO3/h×1台		5.3kgO₃/h×1台	5.3kgO3/h×1台	3.5kgO3/h×2台		₃/hX1台	
	オゾン		処理装置	3台	2台	2台	2台	2台	2台 17.5kgO <sub>3</sub> /h×2台	4台		:台	
	192	後	オゾン発生器	11.2kgO3/h×2台·	+17.5kgO3/h×1台	14.7kgC	3/h×2台		9.9kgO	3/hX2台			
			排オゾン 処理装置		台		台			台			
	次亜塩素酸ナトリウム粉末活性炭		貯蔵槽	40m³×6槽		65m³>				³X6槽			
			揚液ポンプ 小出し槽	2台 10m³×2槽		13m <sup>3</sup>	台 〈2槽			!台 <sup>3</sup> ×2槽			
			注入機	9台		9	台		10	0台			
			溶解槽 注入機	102m <sup>2</sup>		<sup>3</sup> ×2槽 台				m <sup>3</sup> X2槽 !台			
排	濃縮槽		容量・槽数		3,000n				700m	n³X1槽			
排水処理設備					1,150n				1,050	m³X1槽			
理設	加圧脱水機		面積・台数		25m <sup>3</sup>					- Nik			
備	天日乾燥池		池数 総面積							5池 600㎡			
(22) 18	と自 24 小田	<b>○</b> =□#1+		首を共用している。									

(注) 柴島浄水場の設備は、一部、工業用水道を共用している。

配	配水場·給水塔	第1配水ポンプ場	第2配水 ポンプ場	第3配水 ポンプ場	大手前 配水場	北港加圧ポンプ場	舞洲 給水塔	巽 配水場	大淀 配水場	住吉 配水場	住之江 配水場	咲洲 配水場	長居 配水場	港配水場	泉尾 配水場	城東 配水場	真田山加圧ポンプ場	
八二	配水池	池数	9池	4池	6池	3池	_	1池	8池	4池	2池	2池	2池	3池	2池	2池	6池	_
備	日	総容量	112,400m <sup>3</sup>	55,000m <sup>3</sup>	106,200m <sup>3</sup>	33,700m <sup>3</sup>	_	500m <sup>3</sup>	100,900m <sup>3</sup>	55,000m <sup>3</sup>	12,000m <sup>3</sup>	27,300m <sup>3</sup>	30,000m <sup>3</sup>	42,000m <sup>3</sup>	15,000m <sup>3</sup>	24,000m <sup>3</sup>	67,000m <sup>3</sup>	_
VIII	配水ポンプ	台数	7台	5台	7台	4台	2台		12台	5台	4台	4台	4台	5台	4台	5台	6台	3台
消毒	次亜塩素酸ナトリウム・	貯蔵槽	_	_	_	_	_	0.2m³×2槽	0.3m <sup>3</sup> ×2槽	0.3m <sup>3</sup> ×2槽	1.3m³×3槽	2.0m³×3槽	1.5m³×2槽	4.5m³×2槽	_	0.8m³×3槽	1m³×3槽	_
設備		注入機	_	_	_	_	_	2台	2台	2台	2台	2台	2台	2台	_	3台	2台	_

## 大阪市上水道管(鋳鉄直管)の変遷

年 表	名 称	規格	口 径	種別	材質	継手形式	内面塗装	備考
明治41年~昭和5年	水道用鋳鉄管	大阪市形	31/2" (89mm) ~42" (1067mm)		普通鋳鉄	ソケット	タール	輸入品及び国産品
昭和5年~昭和7年	"	上水協議会形	75~1500mm		"	"	"	
昭和7年~昭和8年	n	"	"		高級鋳鉄	"	"	
昭和8年~昭和29年	"	水道協会形	"		"	"	"	
昭和29年~昭和33年	水道用立型鋳鉄直管	JIS G 5521	"	普通圧管	"	"	モルタルライニング	
"	水道用遠心力砂型鋳鉄管	JIS G 5522	75~900mm	"	"	"	"	
"	水道用遠心力金砂型鋳鉄管	JIS G 5523	75~250mm	"	"	"	"	
昭和29年~昭和30年	ゴム継手鋳鉄管	大阪市形	1000~1500mm	"	"	B形	タール	住吉幹線に使用
昭和30年~昭和37年	ゴム継手ダクタイル鋳鉄管	"	800~1500mm	"	ダクタイル 鋳 鉄	"	モルタルライニング	
昭和33年~昭和41年	水道用メカニカルジョイント鋳鉄管	JWWA G 102	75~900mm	"	高級鋳鉄	A形	"	
昭和36年~昭和40年	水道用遠心力ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 105	1200~1500mm	2種管	ダクタイル 鋳 鉄	B形	"	
"	"	"	800~1100mm	"	"	A形	"	
昭和38年~昭和40年	"	"	600~700mm	"	"	"	"	
昭和39年~昭和43年	n	"	300~500mm	"	"	"	"	
昭和40年~昭和43年	"	"	500~1100mm	3種管	"	"	"	
昭和40年~昭和62年	"	"	300~350mm	1種管	"	"	"	
昭和41年~昭和62年	"	"	75~250mm	"	"	"	"	
昭和40年	K形遠心力ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1001	1200~2200mm	2種管	"	K形	"	S49年 JIS G 5526 S57年 JWWA G 113制定
昭和40年以降	"	"	"	3種管	"	"	"	S42年頃より400mm以上の異形管は タールエポキシ樹脂塗装を採用
昭和43年以降	"	"	500~1100mm	"	"	"	"	
"	"	"	400~450mm	2種管	"	"	"	
昭和42年以降	U形遠心力ダクタイル鋳鉄管	大阪市規格	1000~2200mm 1100~1500mm	″ 3種管	"	U形	"	S49年 JIS G 5526 S57年 JWWA G 113制定
昭和44年以降	水道用T形遠心力ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 110	75~250mm	1種管	"	T形	"	S50年よりT形異形管には内面粉体塗装を採用(A形はS52年から採用)
昭和52年以降	S形遠心力ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1019	500~2000mm	1~3種管	"	S形	"	S49年 JIS G 5526 S57年 JWWA G 113制定
昭和55年以降	SⅢ形遠心力ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1021	100~450mm	"	"	SII形	"	"
		OWMS G 1026		1~4種管		PI形		H7年OWMS廃止、JWWA G 113
昭和57年以降	内管挿入用ダクタイル鋳鉄管	OWMS G 1027	300~1350mm	"	"	PII形	"	(PI、PI形)に移行 S59年より異形管にPⅢ形形用
昭和62年以降	"	JWWA G 113	75~350mm	1種管	"	K形	"	
平成元年以降	水道用ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 113	75~2600mm	1~4種管	"	各種	"	浸透性シールコートの採用、外面塗装に ノンタール系エポキシ樹脂塗料の採用
平成2年以降	"	"	"	1~4.5種管	"	"	"	JWWAG 113改正(SI単位への移行等)
平成4年以降	"	"	"	"	"	"	"	JWWAG 113改正(塗装規定) JWWAK 139制定
平成8年以降	NS形ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1042	75~250mm	1.3種管	"	NS形	"	JIS A 5314 H12年にJWWA G 113に移行
平成12年以降	水道用ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 113	75~2600mm	1~4.5種管	"	各種	"	浸出性及び浸出試験方法の追加
平成15年以降	PN用ダクタイル鋳鉄管	大阪市規格	300~1500mm	1~4種管	"	PN形	"	H15年よりPI・PI形の改良管として採用
= n t - t	水道用ダクタイル鋳鉄管	大阪市規格 JWWA G 112	75~350mm	1種管	"	各種	内面エポキシ樹脂粉体	舞洲・夢洲地区等については全口径対象
平成17年以降	NS形ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1042	300~450mm	1種管	"	NS形	内面エポキシ樹脂粉体 モルタルライニング	
平成22年以降	NS形ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1042	500~1000mm	S種管	"	NS形	モルタルライニング	採用口径の拡大
平成25年以降	GX形ダクタイル鋳鉄管	JDPA G 1049	75~250mm	1種管	"	GX形	内面エポキシ樹脂粉体	